やまがた 商工連

305
July 2011

発行　山形県商工会連合会
会長　小野木　覺
〒990-8580　山形市城南町1－1－1
霞城セントラル14F　TEL 050-3540-7211
URL http://www.shokokai-yamagata.or.jp

contents

・通常総会 ……2
・地域資源∞全国展開プロジェクト ……4
・シリーズ　元気な企業
　㈱山形ハーネス（鶴岡市大山）
　～社員が経営計画を策定する提案型企業～
　㈲玉谷製麺所（西川町）
　～麺の本当の美味しさを全国に発信する老舗企業～……5
・青年部・女性部活動コーナー ……6
・県内統一景況調査報告 ……8

高畠町商工会
平成21年12月に竣工しました。まほろば通りに面して、蔵造り風になっています。

白鷹町商工会
平成22年11月に34年間慣れ親しんだ旧会館に別れを告げ、白鷹町産業センターの中に移転しました。

東日本大震災の被災者の方々に対して皆様から心のこもった義援金をお預かりしています。ご支援ご協力ありがとうございました。

2011/6/6現在

商　工　会	商工会会員	商 工 会 長	商工会役員	商工会職員	合　　計
3,500,000円	2,575,248円	1,501,000円	3,557,060円	755,000円	11,888,308円

この度の東日本大震災で犠牲となられた方々・ご遺族の皆様へ
深くお悔やみを申し上げるとともに、被災者への皆様へ心よりお見舞申し上げます。

通常総会開催

県連合会の平成23年度通常総会が5月27日、吉村美栄子県知事、平弘造県議会議長はじめ、多数の来賓を迎え、山形市内のホテルで開催いたしました。

議事は、阿部武敏(庄内町商工会長)議長の下、提出された平成22年度事業報告及び決算書並びに平成23年度事業計画及び収支予算(案)等は、全て原案通り承認されました。

また、役員の補充につきましては、渡邊重信理事(県商工会青年部連合会会長)が退任し、新しく清野隆博氏が選任されました。

平成23年度 中小企業支援関係の商工会連合会重点事業

1 県産食品等販路開拓支援事業

県内の食品製造業者が製造する商品の品質向上や首都圏に向けた新たな取引開始など販路開拓を実現するため、商品開発アドバイス会の実施、商品改善等の事前セミナー、商談会を実施します。

2 創業・経営革新指導事業

経営環境の変化に積極的に対応しようとする起業家の創業や既存企業の新事業展開について支援するため、創業塾や経営革新塾を開催します。

3 経営・技術強化支援事業(エキスパート・バンク)

国の事業「中小企業支援ネットワーク強化事業」と連携しながら、小規模事業者が必要とする専門知識や技能等について専門家(エキスパート)を企業に派遣し、具体的かつ実践的な指導助言を行います。

4 経営安定特別相談事業

企業の経営が不振に陥ったとき、弁護士等の商工調停士などによる特別相談を実施し、倒産の未然防止及び回避を図るよう努めます。

5 広域指導センター事業

商工会で実施する経営改善普及事業支援のため、業種別問題等に関する個別指導や専門分野に関する巡回指導などを行います。

6 地域力宣言2011ニッポン全国物産展への参加

東京池袋サンシャインシティで開催の物産展に参加し、村おこし事業や地域資源∞全国展開プロジェクト等で開発された商品などを都市部の消費者に販売し、また、流通事業者との出会いの場を提供します。

「東日本大震災に関する特別相談窓口」の開設

この度の東日本大震災は、人的被害や建屋設備などへの直接的被害のみならず、経済活動の停滞による売上げの低下など間接的な被害においても甚大なものがあります。

こうした状況に対応するため、県内商工会及び山形県商工会連合会に「東日本大震災に関する特別相談窓口」を設置し、金融・税務・労働等さまざまな相談に関して親身できめ細やかな対応を図ります。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは、お近くの商工会でお受けします。

新商工会長の紹介

【大石田町商工会】
庄司(しょうじ) 正彦(まさひこ)(59歳)
庄司燃料店代表
平成21年副会長

ー明るく元気な商工会へー　平成22年度スタート　新アクションプラン全体図（H22~H24）　山形県商工会連合会

商工会は行きます！聞きます！提案します！ ～会員満足向上運動～

全職員一丸となった巡回訪問の推進・強化　ー会員と商工会の接点づくりー

質の高い巡回訪問の展開

C巡回
「①会員を知る②会員に知ってもらう
③会員に使ってもらう」
•情報の提供（資料、文書配布等）

B巡回
「①会員を知る②会員に知ってもらう
③会員に使ってもらう」
•会員の調査、状況把握
•各種認定・相談業務（経営・情報・金融・税務・労働他）

A巡回
「共に活動する」
•中小企業新事業活動促進法による各種事業プラン 等の相談作成
•創業、事業承継等のプラン等相談作成
•その他各種プラン等相談作成

指導団体

支援・サービス機能強化
中小企業新事業活動促進法による
①経営革新計画
②新連携計画
③農商工等連携事業計画
④地域産業資源活用事業計画の認定
1商工会（経営指導員一人）
あたり 新規1件
新規創業
事業承継
ネットde記帳による自計化の推進
100万会員ネットワーク

会員数・組織率の向上
商工会員数の増強
（組織率の1%増以上）
青年部・女性部員の増強
（新規加入者数：部員の10%以上）

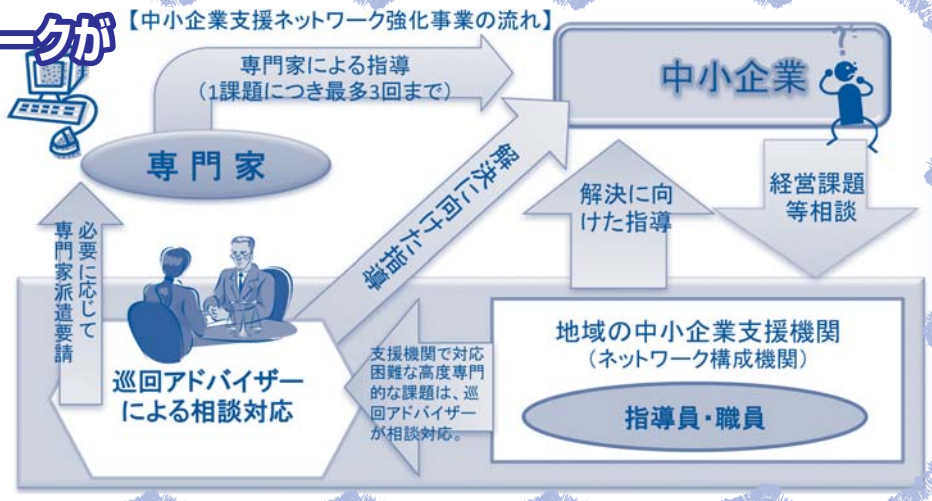
自主財源、比率向上
全収入に占める自己財源（補助金以外の収入）比率　45%以上
福祉共済の増強
保有口数：会員数
300以下　80口
301～500以下　120口
501～1,000以下　160口
1,001以上　200口
貯蓄共済
基準保有口数維持を上回る（H20.3.31）

経済団体

地域の総合経済団体としての役割を果たす → **地域貢献による商工会の存在価値の向上**

中小企業支援ネットワークが中小企業の皆様のさまざまな相談に無料でお応えします！

専門家派遣事業につきましては、経営・技術強化支援事業（エキスパートバンク）もこれに準じた流れになります。
※エキスパートバンクの専門家派遣については、1回までは無料となります。
お問い合わせは、お近くの商工会でお受けします。



企業の経営者様と従業員を守る商工貯蓄共済付加保障制度です。

商工貯蓄共済制度 貯蓄保障融資
商工貯蓄共済 付加保障制度
商工貯蓄共済 医療保障 特約型

＊保障部分はジブラルタ生命がお引き受けしております

Gibraltar ジブラルタ生命
ジブラルタ生命保険株式会社　山形エリア
山形市本町1丁目4-27　ＴＥＬ023-623-0160　http://www.gib-life.co.jp/

地域資源∞全国展開プロジェクト

希少な「生物多様性」を活かした観光&特産品開発事業
もがみ北部商工会

当会は、自然環境と地域の農商工が一連のサイクルとして機能する「自然＋経済」の地域社会づくりをめざし全国展開プロジェクトに取り組みました。現在では貴重となった「生物多様性」を誇る自然環境の「希少性」と地域住民による保全運動を背景に、拠点や施設等の地域資源を有機的に結び付け、また、それぞれの特性を活かした任務と役割も明確にしながら、全国に発信できる自然教育型の観光開発や特産品開発に取り組み、新たな「環境ビジネスモデル」としてブランド化を図ろうという事業です。

当地域は、農業を基幹産業として成り立ってきた地域で、その低迷は商工業の低迷にも直結する課題となっています。同時に、農業によって構築されてきた農耕文化は、結果的に地域の自然環境を保全してきましたが、兼業化が進む中で環境悪化も課題となっています。これらの地域課題を解決することの必要性は、当会のみならず地域で活動する各種団体や村行政においても共通認識となっていました。当会鮭川支部長が会長を務める「鮭川地域資源戦略会議」が発足し、官民一体での総合的な取組みが始まりました。その一翼を担った全国展開事業は、主にマーケティング分野の課題整理として自然環境や拠点施設等の地域資源モニタリングツアーでさまざまな立場・地域の方々に意見を求めました。また、商品開発において開発手法を学びながら情報発信についても成果を得ることにつながっています。

今後は、本プロジェクトでの成果を糧に事業として起業等へステップアップする構想を進めています。

新しく開発した温泉メニュー「きのこ九珍」

地域生活文化と食文化を活かした体験型観光商品の開発
小国町商工会

小国町商工会では、平成21年度、平成22年度と２年続けて全国展開プロジェクト事業に取り組みました。

平成21年度は、山菜、キノコ、雑穀などを使った新たな商品開発をおこない、雑穀焼酎や雑穀ハンバーグを試作開発しました。特に雑穀焼酎については、平成22年４月から地域限定ではありますが一般販売を開始したところ２ヶ月足らずで1,500本を完売したとのことでした。その後、追加醸造して販売を継続し、地域に定着した特産品となっています。

モニターツアー

平成22年度は、地域風習や食文化、自然体感など小国町を丸ごと観光に活かすために体験型観光商品開発をおこないました。雪深い山里のイメージを逆手に取って差別化を図るのが目的で、内容は観光資源の発掘と観光ルートづくり、体験指導者の発掘とガイド人の養成です。

「紅葉」で有名な赤芝峡の散策モニターツアー、関東地区から参加された来訪者に好評を得ることができました。また、冬の風物詩となっている「歳頭焼き」と小正月風習を組み合わせたモニターツアーを計画したり、寒仕込み味噌づくり体験などもおこなっています。

２年に渡るプロジェクト事業により一次産業関係の方や団体との協力体制ができ、いわゆる農商工連携にも成果を上げることができています。今後、地域力を活かすために積み上げた地域連携の基に小国町という原石を磨き上げる事業を進め、交流人口の増加と産業・雇用づくりにつながっていくことが期待されます。

味噌づくり体験

シリーズ　元気な企業

株式会社山形ハーネス（鶴岡市大山）
社員が経営計画を策定する提案型企業

「目指すはNo.1の企業です」と目を輝かせる大瀧郁夫社長

㈱山形ハーネスはハーネス加工を業務とする会社です。昭和60年に富士電工㈱と林工芸が合併し設立されました。

ハーネスとは、電線をまとめて束にしたもので、この業界は参入障壁が低く労働集約的な要素が多いことから、他社との差別化が難しいといわれていました。

そこで、大瀧郁夫社長は、景況や価格競争に左右されやすい「下請け型」から、取引先からのコスト面や品質面での細かい要望に対応することのできる「提案型企業」に生まれ変わることの必要性を感じました。そしてそれを達成するための計画策定に取り組みました。

以前から「社員教育が最も大切」と考えていた社長は、経営計画を社員達に立案させ、取引先や金融機関などの関係者を招待し発表したのです。

社員が立案した経営計画はほぼ100%達成しています。

計画の内容は、売上や利益だけでなく、生産効率や不良率、在庫管理、新規顧客開拓など、より具体的なものになっており、はっきりとした数値目標を設定しています。

社長のねらいは社員に責任と自覚を持たせることでした。これが見事に成功しました。社員の意欲は向上し、少しずつ社長が目指す方向に会社が向かい始めました。品質は向上し、顧客への提案力も格段にアップし、業績も安定するようになりました。

社長は「我が社の強みは技術面での提案ができる営業力です。顧客満足度を上げるには、誠実性とスピード、そして社員一人一人の人間力が大事です。」と語り、「社員の満足度がなければ顧客を満足させることはできない。社員が自分の子供をも入社させたくなるような会社にしたい。」というのが持論です。

全国企業品質賞の受賞に向け取り組んでおられ、将来は医療関連の分野への進出を目指しているそうで、更なる飛躍が期待されます。

株式会社山形ハーネス ……Profil

（所在地）本社・工場　鶴岡市大字友江字川向25-6
　　関東営業所　神奈川県横浜市西区久保町2-12NKビル101号
（電　話）0235-33-0030　（代表者）大瀧　郁夫
（創業年）昭和60年7月　（資本金）1,500百万円
（業　種）電子線材・ケーブル類の加工及び販売等　（社　員）23人
（H　P）http://www.yharness.com/

有限会社玉谷製麺所（西川町）
麺の本当の美味しさを全国に発信する老舗企業

温厚な中にも強い信念がみなぎる玉谷信義社長

月山の里・西川町には、麺類を専門に製造販売している企業があります。有限会社玉谷製麺所です。

通信販売や直売店「※つぉろの舗」を通しての個人客向け販売が約６割を占めます。それだけにお客の需要動向には敏感で、「明るく元気に挑戦する」ことを今年度の経営方針に掲げ、社内は活気に満ち溢れています。

玉谷信義社長は１５年前に２代目社長として就任しました。社長がすぐに取り組んだのが「石臼挽き製粉」の導入です。この製粉方法は、時間と手間がかかるという短所もありますが、つながりが良くて美味しいそば粉が挽けます。自ら製粉したそば粉による一貫生産体制が納得のいくそばを作る上での最大の強みとなっています。

平成１８年には「そばパスタとこだわり高級そば乾麺の開発」をテーマに経営革新に取り組みました。そして念願の「そばパスタ」と「月山七割そば」が完成しました。

乾麺は手打ちそばと違って、そば粉の割合を多くすると食感が悪くなりがちですが、新しい技術である２０℃以下の低温乾燥を導入し、持ち前の職人技に加え、品質管理を徹底させたことが功を奏しました。この「月山七割そば」を冷たいつゆに浸けて試食してみましたが、細いながらもこしが強く歯応えがあり、とても美味しかったです。一緒に添えた山菜の天ぷらとも見事にマッチし、手打ちそばと遜色のない、本格的なそばの味を味わうことができました。

つぉろの舗は工場のすぐ隣にあり、豊富な品揃えが魅力です。

平成２２年には、「第１９回優良経営食料品小売店等全国コンクール」において『日本経済新聞社・社長賞』を受賞するなど、同社は各方面から高く評価されています。

社長は、「『細く長く』でよいのです。常にお客様の目線でご要望を捉えながら、次世代にそばの食文化を伝えていきたいと思います。」と笑顔で語ってくれました。

※つぉろ…昔から地域の方言で「麺類」のことをいいます。

有限会社玉谷製麺所 ……Profil

（所在地）西川町大字睦合甲242
（電　話）0237-74-2817　（代表者）玉谷　信義
（創業年）昭和24年10月　（資本金）3,000万円
（業　種）製麺業　（社　員）20人
（H　P）http://www.tamayaseimen.co.jp/

青年部・女性部活動コーナー

シリーズ　青年部長紹介

①事業所名　②事業所所在地　③業種

庄内町商工会青年部
部長　柿崎　淳
（県青連副会長）
①㈲柿崎建具店
②庄内町余目字土堤下47-2
③建具販売製造業

川西町商工会青年部
部長　梅津　新太郎
（県青連理事）
①電化ショップ梅津
②川西町大字西大塚4005-7
③家電設置・修理・配電工事

尾花沢市商工会青年部
部長　古瀬　隆
①古瀬建具店
②尾花沢市延沢1429
③建具製造業

中山町商工会青年部
部長　横田　正文
①横田板金
②中山町長崎3067-1
③建築板金業

山形県商工会青年部連合会
会長　清野　隆博
①㈲セイノヤ
②白鷹町荒砥乙980-5
③ギフトショップ・葬祭業

毎週金曜日はYBCラジオにて「やまがた商人ネットワーク」を放送

山形県商工会青年部・女性部連合会では設立45周年記念事業の一環としてラジオ番組にコーナーを持つことになりました。県内の商工会青年部・女性部事業のPRを目的として生出演いたします。

これまでに商工会青年部・女性部活動のPR活動はどちらかというと商工会員を対象としたPR活動でしたが、ラジオというメディアを通して広く山形県民にPRし、さらにはリスナープレゼントの実施を通して番組への意見・投稿を求めていく予定です。

商工会青年部・女性部がつくるラジオコーナー

やまがた商人（あきんど）ネットワーク

YBCラジオ「ゲツキンラジオぱんぱかぱーん」内

7/1（金）～11/25（金）
毎週金曜日 15:40～15:45
918kHz

シリーズ　女性部長紹介

①事業所名　②事業所所在地　③業種

庄内町商工会女性部
部長　佐藤　恵子
①写真のみしま
②庄内町余目字沢田144-1
③写真撮影、現像、カメラ等販売業

南陽市商工会女性部
部長　丸森　典子
①丸森典子行政書士事務所
②南陽市椚塚798-1
③サービス業

もがみ北部商工会女性部
部長　八鍬　とよ子
①シャンデールサロン鮭川
②鮭川村大字石名坂281-1
③衣料品販売小売

上山市商工会女性部
部長　阿部　邦子
①㈱上山印刷
②上山市矢来1-5-32
③印刷業

主張発表県大会

去る6月7日から8日にかけて、全県から約150名の商工会女性部員が最上町観松館に集い、主張発表県大会・リーダー研修会並びに通常総会を開催しました。

7日、各ブロック代表の次の4人により発表が行われた結果、【地域で声かけ活動～「子供は地域の宝」を合言葉に～】を発表した井上テル子さんが最優秀賞に選出されました。

発表者
海谷清子さん（大江町）
佐藤成子さん（もがみ北部）
黒澤節子さん（白鷹町）
井上テル子さん（酒田ふれあい）

最優秀賞の井上テル子さん

リーダー研修会

7日、講師に、県子育て支援課課長補佐市村正浩氏とやまがた婚活応援団＋副団長佐藤茂実氏の2名をお招きし、婚活をテーマにした研修会を実施しました。

通常総会

8日、県商工会女性部連合会通常総会を開催し、3議案が原案通り承認、決議事項についても全会一致で決議されました。また、部員増強運動で増加数と増加率の2部門において顕著な成績を収めた南陽市・庄内町・酒田ふれあいの3商工会女性部に表彰状が贈呈されました。

県女性連齋藤会長の挨拶

お得な共済 全国会員福祉共済

「がん重点補償プラン」加入推進キャンペーン

商工会のがん共済に加入して米5kgをゲットしよう！

《ガンガンGOGO キャンペーン！》実施中

山形県産ブランド米「つや姫 こだわり有機米」5kg を
先着100名の方にプレゼント

驚きの確率

日本人の「がん」になるリスクは約2人に1人

男性54.5%　女性40.7%

財団法人がん研究振興財団「がんの統計09」より

詳しくは地元の商工会へ

もし「がん」になってしまったら医療費の負担が心配…
そんな会員さんの不安に、商工会は提案します！

今のあなたにできること 未来の自分を守ること

あなたも家族もまるごと守る！頼れる保障の「会員福祉共済」

山形県 商工会連合会

創業塾2011

独立して起業したいが方法がわからない！

経営の基本知識を、一から学びたい

新"山形力"!! いざよ！

7/23(SAT)・24(SUN)・30(SAT)・31(SUN)・8/6(SAT)

■各日 9:30〜16:30

■受講料 無料　■定員 30名(先着順)

※本講座は人気講座のためお早めにお申し込みください。

■会場 山形市「霞城セントラル」15階 商工団体会議室

創業に関する相談、お悩みを持つ方の参加をお待ちしております。

売れる販促ノウハウを、習得したい！

同じ志を持ち切磋琢磨できる仲間がほしい！

■お申し込み・お問い合わせ先

山形県商工会連合会

〒990-8580
山形市城南町1-1-1　霞城セントラル14階

裏面の参加申込書に必要事項を記入し、山形県連合会あてに郵送かFAXにてお申し込みください。
また、必要事項を記入の上、Eメールにてお申し込みいただいても結構です。

TEL.050-3540-7211 FAX.023-646-7216
kigyou@shokokai-yamagata.or.jp
http://www.shokokai-yamagata.or.jp

県内統一景況調査報告
[平成23年4～6月期]

〔調査要領〕

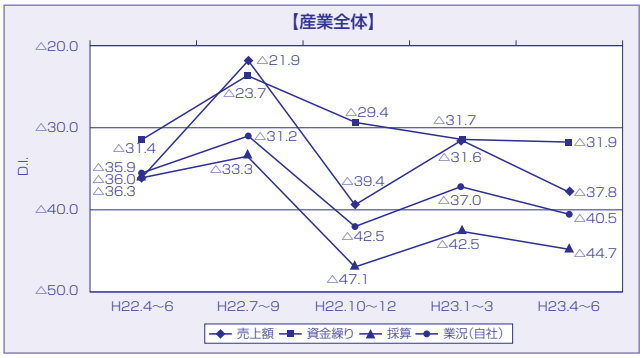
調査対象：山形県内24商工会地域の企業
（原則として１商工会あたり15企業）

調査時点：平成23年６月１日

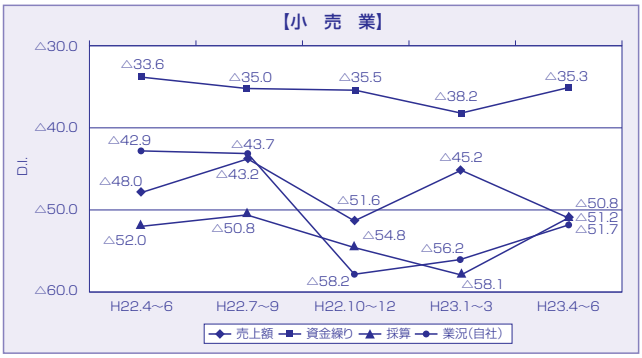
調査方法：商工会経営指導員による企業への訪問ヒアリング調査

※D.I.　とは、ディフュージョン・インデックス
（景気動向指数）の略で、以下により算出しております。

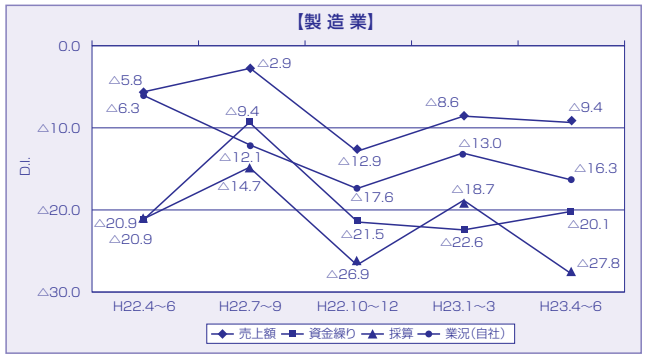
D.I.＝【各項目の増加（上昇・好転）企業割合（%）】
－【各項目の減少（低下・悪化）企業割合（%）】



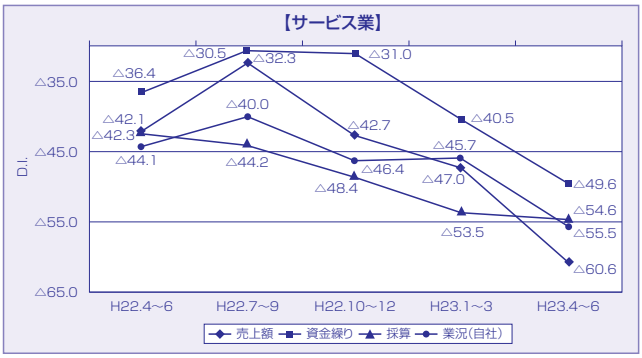
県下商工会地区における今期(平成23年４月～６月期)の景況調査によるとDI(景気動向指数・前年同期比)はいずれも悪化している。やはり、震災の影響が予想以上に大きいといえる結果となった。原発事故、電力不足が収束するまでは予断を許さないが、自粛ムードも和らぎ需要回復の兆しが見られる。



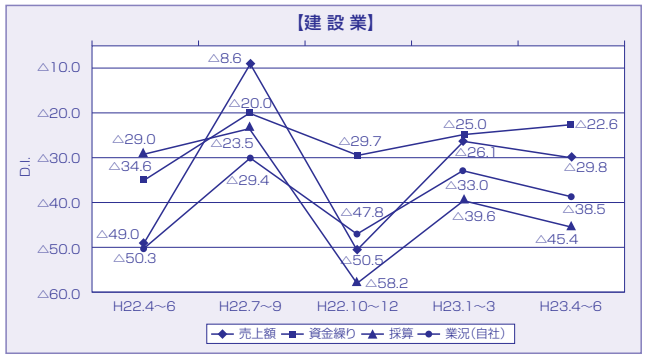
今夏の深刻な電力不足に備え、節電家電、特に扇風機の売れ行きが好調のようである。震災直後に比べるとだいぶ消費マインドも上向き、家庭用品や食料品、衣料品は堅調な動きを見せている。ただ、夏のボーナスが前年度比で減少することが見込まれるなど、懸念材料も少なくない。



震災で設備が壊れたり、サプライチェーン(部品の調達・供給網)が寸断されるなど、電子部品・デバイスや輸送機械などの業種で生産量が激減した。特に自動車関連の生産量が最も激減したようである。原発の風評被害により、輸出量が激減している企業も見受けられる。



震災による自粛ムードが予想以上に悪影響を及ぼし、特に宴会需要が冷え込んだことにより飲食業の売上が大きく落ち込んだ。宿泊業も自粛ムードに加え、原発事故による風評により県外客が激減し深刻な状況に陥っている。理容業では大手チェーン"1,000円カット"の進出により顧客を奪われたという声が多い。



復興需要も若干あるものの、被災地に近い地区に限られているようである。震災による公共・民間の投資意欲の減退、材料・資材の不足、価格の上昇が懸念材料である。新たに始まった県のリフォーム補助助成制度も"被災者への遠慮"もあり伸び悩んでいる。新設住宅着工数、公共工事請負金額が上向いているのが好材料である。

庄内町商工会では、町ぐるみで『笑顔で元気なあいさつ』運動に取組んでいます。

庄内町商工会では、23年度の重点事業として『笑顔で元気なあいさつ』運動を実施しています。

この運動は、お店や事業所に買い物や商談・納品等で訪れたお客様・お取引先様を〝笑顔と元気なあいさつ〟でお迎えし、喜んでいただける店・会社づくりを行い、元気な事業所の創出と町の活性化を図ろうという運動です。

また、この運動は商工会のみならず、庄内町、町教育委員会、町内の保育所・幼稚園や小中高校が一体となり町ぐるみで取り組み、地域全体が明るく元気になろうという気持ちで、子供たちと一緒になり大きな運動に盛り上がっています。

運動への参加事業所は、「おはようございます」「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」などの挨拶に徹底して取り組む他、のぼりを立て町民やお客様に対し事業への参加をアピールしていきます。参加事業所は約４００件、８００枚を超すのぼりが町内各所にひらめいています。